



評価のポイント

CL-2.看護実践能力：ニーズをとらえる力

【16-2】呼吸不全の病態生理とフィジカルアセスメントとケアの選択

症例1と2のフィジカルアセスメントとケアを参考に、気胸をテーマに、その病態をふまえて、フィジカルアセスメントとケアを考えましょう。

配布資料10、16「呼吸不全とフィジカルアセスメントとケアの選択」を参照して、気胸の呼吸不全の原因を考えて欲しい。気胸時のフィジカルアセスメントでは、視診・触診・聴診でどのような変化が確認できるか、その上で、どのようなケアが必要か考えて欲しい。

例)

バイタルサイン測定（どう変化するか？）

皮下気腫のマーキング（どのあたりに出現しやすいか？）

痛みのケア

胸腔ドレーンの準備 等